

NYT & YFCがついに開催！



やまみい博開催

ついにこの日がやってきた

たくさんのお客さんで

当日 迎えた

6月22日、ついに待ちに待ったNew Yamaguchi Timesが開催された。皆が一生懸命つくりあげてきた企画を、たくさんのお客さんが体験し、そして、数多くの衝撃を残すこととなった。コロナ明け初の一般公開もできるようになった学園祭。当初は大規模な混雑も予測されたが、意外にも、スムーズに進んでいった。

山口県特有のガードレールである。そのほかにも、エリアの場所を青看板で表示するなど、各所にバスのりさを感じることものできる仕掛けがあった。

たくさんのお客さんの笑顔

前年度の附中万博よりも短い準備期間で実施されたNYT。一時は間に合わないかも知れないという意見もあったが、どの企画もとてもクオリティの高いモノだった。来場者の中には小さな子どもも姿もあったが、退屈そうにしている様子はなく、笑顔いっぱいでお客さんを楽しんでいた。休むひまも無く訪れる衝撃の数々体験する人だけではなく、見ている人や運営している人まで笑顔にさせる企画。今回のNYTは調査班が経験した今までの学園祭の中で最も衝撃を得ることができた。まさに3か年計画の集大成といえるだろう。

Yamaguchi Fuchu Cup

6月25日、やまみい博体育部門である、YFCが開催された。雨天によって2日延期となったYFCであったが、当日は雨が降ることはなく、無事に競技を行うことができた。1年↓2年↓3年の順に競技が進んでいき、山口をテーマとした競技のもと、総合優勝に向けて団員全員で一つとなり取り組んでいた。会場は熱狂につつまれ、スポーツの生み出す感動や笑顔、そして、スポーツをすることの大切さについて考えることができた。

ファストパス制度

今回のNYTでは、初めてファストパスという制度が導入された。パンフレット裏のクロスワードを解き、体育館受付の実行委員まで持って行くともう一度できた。この券を使うと、列に並ばずに企画班に入場できるため、混雑を回避して企画を楽しみたいという人に好評だった。とても人気で、すぐになくなりました。次回のため、次回の学園祭では、枚数などを工夫して導入してほしいと思っている。

やまみい博を 終えて

今回のやまみい博を通して、新しいクラスメイトや他学年の人とも協力して物事に取り組むことで、団結力を高めることができたと思う。ここで育んだ団結力や個々の力を、音楽祭などのほかの行事でも生かして、よりよい学園を皆で作っていきけることをやまみい博広報班は願っている。



YAMAGUCHI 未来博



～「やまぐち」から「YAMAGUCHI」へ～